

# たつうま 特集展示 辰馬考古資料館の名品 —鉄斎との交友、考古学に寄せるまなざし—

2026年7月14日(火)～9月6日(日) 京都国立博物館 平成知新館(3F-1・2、2F-1・2 展示室)

兵庫県西宮市にある**辰馬考古資料館**は、**辰馬悦蔵(えつぞう、1892～1980)**によって設立されました。京都帝国大学で考古学を修めた悦蔵は、家業である酒造業の傍ら、考古資料の蒐集・保全に尽力しました。**収蔵品は銅鐸を中心に、縄文土器・土偶・銅鏡など幅広く、彼の高い見識が反映されています。**

また、資料館には悦蔵の祖父悦叟(えっそう、1835～1920)と親交のあった富岡鉄斎(1837～1924)をはじめとする絵画の優品も多く収蔵されています。

本展では、実業に携わりつつ**美術・考古学に深い造詣を示した辰馬悦叟・悦蔵の深いまなざしをたどります。**



重要文化財 袈裟襴文銅鐸  
大阪府太子町鹿谷寺出土  
辰馬考古資料館蔵



重要文化財 阿倍仲麻呂明州望月・円通大師呉門隱栖図(右隻)  
富岡鉄斎筆 辰馬考古資料館蔵(8月11日～9月6日展示)

【開館時間】午前9時30分～午後5時 \*金曜は午後8時まで開館 \*入館は各閉館の30分前まで

【観覧料】一般700円 大学生350円

\*本観覧料で当日の平成知新館の全展示をご覧いただけます。

\*高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料。

\*障害者の方とその介護者1名は無料となります。障害者手帳などをご提示ください。

\*キャンパスメンバーズ(含教職員)は、学生証または教職員証をご提示いただくと、無料となります。

【休館日】月曜日 \*ただし7月20日(月・祝)は開館し、7月21日(火)休館

【一般問い合わせ】TEL 075-525-2473 (テレホンサービス) <https://www.kyohaku.go.jp/>

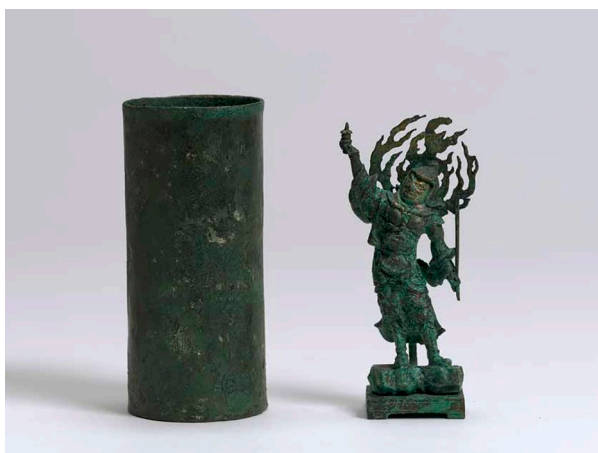
—報道に関するお問い合わせ—

京都国立博物館 学芸部企画室 TEL:075-531-7508/FAX:075-531-7719 〒605-0931 京都市東山区茶屋町 527  
press\_kyohaku@nich.go.jp

アンダーグラウンド  
特集展示 埋納—地下に願いを—

2026年7月14日(火)～9月6日(日) 京都国立博物館 平成知新館(1F-3・4 展示室)

古代より人々はモノに祈りを託し、地中に埋めてきました。こうした埋納行為には、土地を<sup>きよめ</sup>浄め<sup>しず</sup>鎮める願いや、仏教の教えをタイムカプセルのように遠い未来へ伝える願いが込められています。本展では近畿地方出土の埋納品を中心に、古墳時代の土器埋納、飛鳥・奈良時代以来の<sup>ちんどんぐ</sup>鎮壇具や<sup>ぜんか</sup>銭貨の埋納、平安・鎌倉時代の<sup>きょうてん</sup>經典埋納と<sup>きょうづか</sup>経塚造営の事例を辿り、室町・江戸時代に至る日本の埋納史を概観します。あわせて、埋納という営みの背景にある仏教をはじめとする多様な信仰に注目し、埋納品に託された人々の願いと祈りを見つめます。



重要文化財 花背別所経塚出土品のうち  
銅筒と毘沙門天立像 文化庁蔵



国宝 崇福寺塔心礎納置品  
滋賀県大津市崇福寺塔跡出土  
滋賀・近江神宮蔵

【開館時間】午前9時30分～午後5時 \*金曜は午後8時まで開館 \*入館は各閉館の30分前まで

【観覧料】一般700円 大学生350円

\*本観覧料で当日の平成知新館の全展示をご覧いただけます。

\*高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料。

\*障害者の方とその介護者1名は無料となります。障害者手帳などをご提示ください。

\*キャンパスメンバーズ(含教職員)は、学生証または教職員証をご提示いただくと、無料となります。

【休館日】月曜日 \*ただし7月20日(月・祝)は開館し、7月21日(火)休館

【一般問い合わせ】TEL 075-525-2473 (テレホンサービス) <https://www.kyohaku.go.jp/>

—報道に関するお問い合わせ—

京都国立博物館 学芸部企画室 TEL:075-531-7508/FAX:075-531-7719 〒605-0931 京都市東山区茶屋町527  
press\_kyohaku@nich.go.jp